



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2022-23 クラブテーマ **未来創造**

2022. 10. 17

米山月間

No.2426 No.9



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

松崎 孝史

本日は、お客様に米山奨学生サボー・ペーテルさんと米山奨学生カウンセラーの石黒隆夫さん（三条北RC）をお招きしました。

サボー・ペーテルさんの出身地ハンガリーについてご紹介します。

面積は日本の1/4、人口は970万人、首都はブダペストです。

周りは、オーストリア、スロバキヤ、ルーマニア、セルビア、クロアチアそしてスロベニアに囲まれた国です。従いまして、海産物というよりは肉料理（特に豚肉）が多いと聞いています。その他パプリカ、はちみつが有名です。パプリカ粉で肉や野菜をにこんだスープ、パプリカ粉とサワークリームのソースで煮込んだ鶏肉料理、パプリカの肉詰めなどが有名です。

行ったことはないですが、野菜と肉を中心とした食文化で日本人もなじめる感じがします。

音楽では「ハンガリー舞曲」で有名なブラームスという作曲家や「美しく青きドナウ」を作曲したヨハン・シュトラウスなどの作曲家がいます。みなさんが小学校・中学校時代その音楽室に飾っていた作曲家です。

今日はそのハンガリーから「サボー・ペーテル君」が三条南ロータリークラブへやってきました。是非彼の将来のために短い期間ではありますが我々もサポートしていきたいと思えます。

◆本日の出席：39名中25名

◆先週までの通算出席率：86.58%

◆本日のゲスト：

米山記念奨学生 サボー・ペーテル君（ハンガリー）

米山奨学生カウンセラー 石黒隆夫君（三条北）

◆先週のメイクアップ

▶9/11 米山忠俊ガバナーエレクト事務所開所式（銭心亭おゝ乃）へ 松崎孝史君、太田義人君▶9/27 地区大会記念ゴルフ大会へ（紫雲寺CC）木村謙君▶同 三条北RCへ 坪井康紀君、塩入栄助君▶9/28 三条RCへ 西潟精一君、西巻克郎君▶9/29 三条東RCへ 坪井康紀君、塩入栄助君、佐々木常行君▶10/3（欠席者記帳）西巻克郎君、永井篤利君、銅冶康之君▶10/13 三条東RCへ 平松修之君

◆幹事報告 太田義人 幹事

▶五十嵐川を愛する会より「五十嵐川クリーン作戦」中止のお知らせ 年次計画では2022.11.6に実施予定のところ利用者は増加しつつもゴミは少ない現場状況から本年度は中止

▶国際ロータリー オーストラリア・メルボルン大会参加のお願いと参加ツアー募集の御案内

2023年5月26日（金）～6月1日（木）

▶10月のロータリーレート 1\$=145円（9月レート1\$=139円）

😊ニコニコボックス

10/17 10,000円 本年度累計 136,000円

石黒君（三条北）「本日は米山奨学生サボー・ペーテル君をお招きいただきありがとうございます」

松崎会長「ようこそ、サボー・ペーテル様そして石黒隆夫様、今日はゆっくりお過ごしください」

太田幹事「サボー・ペーテル様、石黒様、ようこそ三条南クラブへお越しくださいました」

銅冶君、田代君、野崎君「米山奨学生サボー・ペーテル様、三条北ロータリークラブ石黒隆夫様、南ロータリーへようこそ」

西巻君「夕々の雨が降って来ました。大雨にならない様に願っております。BOXに協力して」

西潟君「10月15日と16日、秋晴れの素晴らしいお天気でした。今日は雨です。気候変動には皆様ご自愛ください」

熊倉君「BOXに協力します」

坂井君「カウンセラー石黒さん、奨学生サボーさん、今日はありがとうございました。皆さんBOXにご協力ありがとうございました」



国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ（カナダ）
第2560地区ガバナー 高橋 秀樹（新潟）
第4分区ガバナー補佐 渡邊 喜彦（巻）
会長 松崎 孝史
幹事 太田 義人
SAA 桑原 朋子

事務局
〒955-8666 三条市町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

米山奨学生卓話



サボー・ペーテル君
(ハンガリー)

ハンガリーの物語「光と影の千年史」

10月17日の例会の際に発表させていただくのは本当にありがたいことだと考えております。なぜかという、その発表が私の母国であるハンガリーについて三条南 RC の皆様にもっと詳しく知っていただくのに非常に良いチャンスになるのではないかと思うからです。

ハンガリーの歴史は1000年以上前まで遡って、東/中央ヨーロッパに位置しているカルパッチョ盆地で始まりました。

東から来ているいわゆるマジャール族はあっという間に敵である民族を圧倒してカルパチア盆地を占領しました。100年後、1000年頃、マジャール族は西方教会に入会して、輝かしいハンガリー王国が成立しました。

しかし、16世紀より王国の大部分がオスマン帝国に占領されて、ハンガリーの困苦がその時点から始まりました。150年間にわたって続く占領が1699年に終焉しましたが、ハンガリーは再び占領されて、今回はハプスブルグ帝国に。その結果は後のオーストリア=ハンガリー帝国の成立で、そしてその最終的な結果はハンガリー史上最大惨事となりました。

負けた第一次世界大戦に続いて結ばれたトリアノン条約によって、ハンガリーは人口と土地の3分の2が奪われて、経済的にも壊滅されたということを言い切るのも大袈裟ではないかもしれません。

第二次世界大戦の惨めな結果としてハンガリーはソ連にいらせて、共産主義政体が40年にわたって統治を続けました。そのような過去の出来事の経済的な悪影響は現在までハンガリーに負担させています。

1989年よりハンガリーは共和制国家になって、2004年よりEUにも加盟しました。



10月は米山月間



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

1. 米山月間の由来

今年も米山月間がやってまいりました。国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間とは別に、日本独自の月間テーマとして、毎年10月は米山月間となっています。今回は改めて、その由来についてご紹介します。

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。

その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週刊」が1978年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4月では各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。

そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。

1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。当会の配布資料などを活用し、米山への理解促進へのご協力をお願いいたします。

